

調査事項① | コロナ禍における町社会福祉協議会の相談業務等の現状について

調査内容

コロナ禍における生活困窮者の相談・貸付業務ほか町社会福祉協議会の支援事業全般の現状について調査を行った。

意見・要望

1. 町社会福祉協議会の相談業務及び貸付事業の件数はまだまだ増加しており、それに伴う事務処理等が職員に大きな負担となっている現状が把握できた。コロナ禍の影響は複数年にわたる可能性もあり、今後も現状どおりきめ細かな支援が継続されるよう他機関とも連携して進められたい。
2. 町社会福祉協議会支援事業のうちチャレンジ就労体験事業については、教育委員会と連携して支援につながった事例などの成果について説明を受けた。受入れ事業所を増やすと共に、個々の支援者に寄り添った事業展開を引き続き行っていただきたい。

調査事項② | つくんこ教室・アンブレラの仮移設後の状況について

調査内容

子育て支援拠点施設建設に伴い、小学校体育館1階に仮移設したつくんこ教室及びアンブレラの状況について調査を行い、移設先の各部屋の面積が十分に確保されていることなどを確認した。

意見・要望

小学校体育館1階への移設にあたり新たにパーティションを購入するなどして対応されたが、音の問題や空調の問題などが見受けられた。仮設ではあるが、利用される母子・子どもの安全な環境の確保が重要であり、必要に応じた対策を講じながら安心・安全な事業実施を行っていただきたい。現在、建設が進められている新施設が良いものとなるように期待する。



小学校体育館1階に仮移設した「つくんこ教室・アンブレラ」を視察

調査事項③ | 事務事業評価について

調査内容

事務事業評価及び第7次総合計画実施計画の取り組みについて調査を行った。事務事業評価は、「事業の計画立案」から「実施結果が町民の満足するものであったか」までを分析・評価し、次の計画に反映させるためのものである。総合計画と事務事業評価の連動性にも注目して執行部の考えを伺った。

意見・要望

1. 第7次総合計画の初年度にあわせて、総合計画の政策評価と連動した形の事務事業評価を計画していることがわかった。今後は庁内で調整を進め、施策や事業の評価結果が町民にわかりやすく発信できるよう取り組まれない。
2. 事務事業評価の対象事業数については、全体の8割程度となるよう順次拡大を図られたい。

議会の決定で、町はどう変わるの？

令和3年度坂祝町一般会計補正予算(第1号)の主な内容

○新型コロナウイルス感染症対策事業 ※下記「A」事業合計 6,041万円

- 証明書のコンビニ交付サービス導入 3,883万円
- 公共施設等感染症対策(保健センター、中央公民館、サンライフさかほぎ、小中学校) 267万円
- 坂祝町新型コロナウイルス感染症対策費補助金(町内商工業者の感染症対策へ補助) 569万円
- 新型コロナウイルス感染症離職者雇用助成金 200万円
- 社会福祉施設における感染症対策への助成 190万円
- 生活困窮者食糧支援 10万円
- 小中学校ICT支援員の配置等 293万円
- 小中修学旅行・中学校海研修の3密対策 140万円
- コロナ禍における学校活動の周知(小中学校ホームページにブログ機能追加) 79万円
- 選挙事務(開票時)における感染症対策 110万円
- 医療従事者応援事業負担金【加茂地域広域共同実施】 300万円



地方公共団体情報システム機構
ホームページより

A

- 新型コロナウイルスワクチン接種関係 812万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金 999万円
- 用地取得(役場隣接地) 1,302万円
- 用地取得(酒倉地内道路用地) 2,225万円